漢字1 熟語の読み方(2)

熟語の読み

熟語は、音どうし（音＋音）、訓どうし（訓＋訓）という読み方のものが多いが、音と訓を組み合わせて読むものもある。

①**音＋音**　（例）山脈（サンミャク）

②**訓＋訓**　（例）朝日（あさひ）

③**重箱（ジュウばこ）読み（音＋訓）**　（例）駅前（エキまえ）

④**湯桶（ゆトウ）読み（訓＋音）**　（例）場所（ばショ）

熟字訓

熟語には、漢字一字ごとに読むのではなく、熟語全体で一つの訓を当てる特別な読み方をするものもあり、これを**熟字訓**という。

〈主な熟字訓〉

明日（あす）　小豆（あずき）　田舎（いなか）　乳母（うば）　叔父・伯父（おじ）　大人（おとな）　乙女（おとめ）　叔母・伯母（おば）

鍛冶（かじ）　風邪（かぜ）　固唾（かたず）　為替（かわせ）　昨日（きのう）　今日（きょう）　果物（くだもの）　今朝（けさ）　今年（ことし）　五月（さつき）

早苗（さなえ）　五月雨（さみだれ）　時雨（しぐれ）　尻尾（しっぽ）　竹刀（しない）　老舗（しにせ）　芝生（しばふ）　清水（しみず）　白髪（しらが）　相撲（すもう）

太刀（たち）　七夕（たなばた）　一日（ついたち）　梅雨（つゆ）　凸凹（でこぼこ）　名残（なごり）　雪崩（なだれ）　二十・二十歳（はたち）

二十日（はつか）　一人（ひとり）　日和（ひより）　二人（ふたり）　二日（ふつか）　吹雪（ふぶき）　迷子（まいご）　真面目（まじめ）　土産（みやげ）

息子（むすこ）　紅葉（もみじ）　八百屋（やおや）　大和（やまと）　弥生（やよい）　行方（ゆくえ）　若人（わこうど）

複数の読み方がある熟語

同じ漢字を使っていても、読み方によって意味が異なる熟語もある。

（例）風車　オランダの風車（フウシャ）。　風車（かざぐるま）で遊ぶ。

今日　今日（コンニチ）の世界情勢。　今日（きょう）はいい天気だ。

確認テスト

(1) 次の熟語の読み方をそれぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 若葉〔　　〕 ② 台所〔　　〕
③ 油絵〔　　〕 ④ 社会〔　　〕

ア 二字ともに音読み　**イ** 二字ともに訓読み
ウ 重箱読み　**エ** 湯桶読み

(2) 次の熟語の読み方をそれぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 役割〔　　〕 ② 手紙〔　　〕
③ 行動〔　　〕 ④ 値段〔　　〕

ア 二字ともに音読み　**イ** 二字ともに訓読み
ウ 重箱読み　**エ** 湯桶読み

(3) 次の熟語の読み方のうち、熟字訓であるほうを選びなさい。

昨日・今日・明日

ア きのう・きょう・あす
イ さくじつ・こんにち・みょうにち
〔　　〕

(4) 次の熟語の読みをそれぞれ答えなさい。ただし、いずれも熟字訓である。

① 五月雨〔　　〕 ② 梅雨〔　　〕
③ 時雨〔　　〕

(5) 次の熟語の読みをそれぞれ答えなさい。ただし、いずれも熟字訓である。

① 竹刀〔　　〕 ② 為替〔　　〕
③ 雪崩〔　　〕

(6) 次の――線部の読みをそれぞれ答えなさい。ただし、①～③の読みはそれぞれ異なる。

① 演技が上手になる。〔　　〕
② 舞(ぶ)台(たい)の上手に立つ。〔　　〕
③ 彼(かれ)のほうが一枚上手だった。〔　　〕